コースNo. 139

中小企業大学校
九州校
組織マネジメント

思ったことが言える、行動が変わる、成果が広がる

心理的安全性の高い組織づくり

［中小企業大学校九州校開催］

研修のねらい

変化の激しい環境の中で多様な社員が働く職場では、立場や経験、価値観の違いから、「わからないと言えない」「悪い情報を隠す」「批判をためらう」「新しいアイデアを思いついても言えない」といった状況が発生し、生産性と成果に悪影響を与えることがあります。

本研修では、これらの課題の一因である「心理的に不安な状態」を理解し、部下が安心して主体的に動ける「場」や「仕組み」を具体的に学びます。これらのスキルを身につけることで、部下の主体性を高め、働き甲斐のある職場環境を作り出し、その結果として、高い生産性と成果を実現するチームを構築することを目指します。

研修のポイント

- ☑ 心理的安全性がこれからの職場に欠かせない概念であることを理解します。
- ☑ 自分と部下を心理的に安全な状態に導くための心構えや、部下への接し方が学べます。
- ☑ 自社にとって望ましい職場やチームの姿を考え、そこに至るための管理者としての行動計画を作成します。

研修期間

2026年
12/8(火)～12/9(水)
(2日間　12時間)

対象者

管理者、新任管理者

- 部下の積極性をもっと引き出したい方
- 成果の出せる組織やチームを目指す方
- 社員が働きやすい、活気のある職場を作りたい方

定　員 24名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 九州校
福岡県福岡市博多区綱場町２番１号

月 日	時 間	科 目	内 容
12/8(火)	9:50-10:00	開講式	オリエンテーション
	10:00-12:30	心理的安全性とは	心理的安全とは何かを理解し、職場で心理的安全性を高めるための考え方を学びます。 • なぜ今、心理的安全性が求められるのか • 心理的安全性の不足が引き起こす4つの不安とその症状 • 心理的安全性を高める事＝甘やかしという誤解
	13:30-17:00	心理的安全性を実現するリーダーの心構え	心理的安全性を実現するためのリーダーの心構えと、それを実現するための心理的マネジメントについて学びます。 • 上司に求められる役割 • 心理的安全性を実現するリーダーシップの基本とは • 心理的安全性を高めるために必須の心理的マネジメント • 部下のモチベーションを最大化するための方法
12/9(水)	10:00-15:00	心理的安全性を実現するコミュニケーション（演習）	部下から話を聴くこと、心理的安全性を守りながら言いにくいことを部下に伝える手法を演習を通して学びます。 • 「聴く」ということ • 部下指導の重要なスキル（叱り方、伝え方） • 共感コミュニケーション、4つのステップとその実践 • 部下との信頼関係のセルフチェック
	15:00-17:00	心理的安全性を高めて成果を上げるために	学んだ内容を職場に戻って取り組むために、実践計画の策定に取り組みます。 • チェックリストによる自己の言動の傾向考察 • 心理的安全性を高めて組織の成果を上げるための実践計画の策定
	17:00-17:10	終講式	

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。
※お昼休みは12:30～13:30を予定としておりますが、予告もなく変更する可能性がございます。ご了承ください。

講師紹介（敬称略）

溝井&パートナー経営コンサルティング事務所
代表
溝井　伸彰（みぞい　のぶあき）

中小機構アドバイザー。中小企業診断士・公認心理師・日本人生哲学心理学会監事。広告会社などを経て、株式会社ティビーシーでコンサルティング事業部長に就任。1999年に独立。戦略経営、新規事業開発、ワークエンゲージメント開発を中心にした組織開発を中心に、製造業・卸売業・サービス業など幅広い業種の中小企業、起業家にコンサルテーションを行っている。中小企業大学校のほか、東京電機大学、産業能率大学などでも指導。「ドラッカーマネジメントを実践する会」を主宰。

Be a Great Small.
中小機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 九州校

お申し込み方法、お問い合わせ先等は裏面をご覧ください。
Web からもご覧いただけます。
中小企業大学校　九州校　検索